

## 瀬戸内の港紀行(その1)

2020.9.24 池田良穂

9月の4連休に瀬戸内海の港を回って、新しく就航したフェリーの姿を先のニュースでお伝えしましたが、その旅行概要を報告します。

旅行開始前に、まず、就航船が新しくなった航路の港をピックアップして、それぞれの港での出入港時間を調べました。できれば停泊している姿よりは、出入港時の走行中の姿を撮影したいためです。時間を合わせようとすると港の間を行ったり来たりせねばなりません。途中の道路事情等もあるのでなかなか計画通りにはなりません。後は、その場その場で修正しながらの行程になりました。

まず、朝の神戸からのジャンボフェリーに乗り、小豆島経由で高松に上陸して、多度津港に向かいました。ここでは三洋汽船の笠岡諸島航路船が新しくなっていました。到着したのは出港の20分ほど前でした。撮影後、三崎半島の須田港まで移動して、粟島汽船の新船の入港を撮影してから、近くの仁尾港で夏季限定運航の三豊市営渡船「第13つたじま丸」に初めて出会うことができました。

この日の最後の予定は、新居浜市営の大島への渡船の撮影でした。日没前までに着けるか微妙でしたが、高速道路を使ってなんとか17時前には到着して、「おおしま7」の出港をカメラに収めることができました。



① 神戸港で「りつりん2」に乗船しました。



② 神戸港を出港。高松に向かいました。



③ 神戸港外で井本商運の内航コンテナ船「まや」と反航しました。同社の内航コンテナ船は急激に数を増やしており、今航海では2隻と遭遇しました。



④ 大型ばら積み船「ポアスチール・エレベーション」と反航しました。200mを超える巨大船なので、先導するエスコートボートが、航路付近で操業中の漁船に注意を呼び掛けていました。



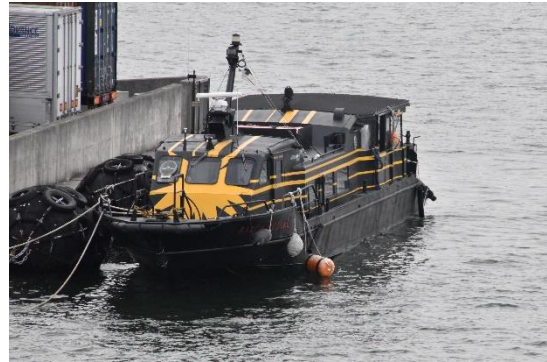
⑤ エスコートボートの「おおとり」です。



⑥ 高松港に入港直前に小豆島航路の「ブルーライン」と反航しました。



⑦ ジャンボフェリーの埠頭の横に、直島ラインの高速旅客船が 2 隻係留されていました。小豆島の坂手と直島を結ぶ航路に、瀬戸内国際芸術祭期間に運航されていましたが、現在は運休中のようです。神戸からジャンボフェリーで小豆島に到着する観光客を、高速船で直島および周辺諸島につなぐ航路として開設されました。



⑧ BARCA SOLARE です。



⑨ もう 1 隻は、BARCA EOLICA という船名でした。



⑩ 高松東港を下船して高速道路を使って多度津港に到着。ちょうど「新なぎさ 2」の出港に間に合いました。四国と笠岡諸島を結んでいます。



⑪ 多度津港から 30 分ほどで須田港に到着すると、ちょうど栗島からの新造の高速カーフェリー「みとよ」が入港してくるところでした。同船は船尾に小型車を 1 台積載できる 19 総トン型のカーフェリーです。



- ⑫ 三崎半島の北の付根に位置する須田港から半島を横断すると仁尾港があり、鳶島に渡る市営船が夏季限定で運航されています。「第 13 つたじま丸」が停泊していましたが、夕方まで動く気配はありませんでした。



- ⑬ 仁尾港の港内に小型高速船の姿がありました。船名は「Seto ピリカ」です。どこで使用される船なのか、船主や造船所等をご存じの方はご教示ください。



- ⑭ この日の最後の撮影予定は、新居浜市営の大島航路のフェリー「おおしま 7」でした。新居浜港の東側の黒島から出港しています。港に到着してしばらくすると大島に向けて出港して行きました。  
ホテルに向かう前に、AIS で付近の船を調べてみると、すぐ近くの新居浜港にオレンジフェリーの「おれんじホープ」が停泊していることが分かりました。



- ⑮ 新居浜港の「おれんじホープ」の着岸している岸壁の横は公園になっていて、当日はたくさんの家族連れで賑わっていました。4連休の2日目の日曜日とあってトラック需要がすくなく、同船は休航となっていたため、出会うことができました。いつものスケジュールだと16時20分には神戸に向けて出港してしていないはずでした。